

スルフォアセトアルデヒド還元酵素

Cat. No. EXWM-0225

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 反応を逆方向にのみ触媒します。タウリンの分解に関与しています。細菌 *Chromohalobacter salexigens* 株 DSM 3043 は、この反応を触媒する2つの酵素を持っています。1つは構成酵素 (isfD2によってコードされる) で、もう1つは誘導酵素 (isfDによってコードされる) です。後者はタウリンによって誘導され、タウリンで育てられた細胞で観察されるほとんどの活性に責任があります。

別名 isfD (遺伝子名)

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 1.1.1.313

反応 イセチオン酸 + NADP+ = 2-スルフォアセトアルデヒド + NADPH + H+

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。お客様の仕様に合わせてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C ~ -80 °C で保管してください。